

22148 食料経済 Food Economics		1 年次～ 後期 2 単位	
担当者	浅野 義	履修可能学科	F
		関連資格	教職(F)
サブタイトル	現代の食料経済		
授業内容 ・ ねらい	<p>現代の世界には、先進国における食料の供給過剰と開発途上国における食料の供給不足とが併存し、先進国には「農業調整問題」、途上国には「食料問題」があります。</p> <p>わが国では経済成長に伴う食生活の変化を反映して食料の流通や加工を行う食品産業が重要な産業部門となるとともに、食料自給率（カロリーベース）が40パーセント（平成19年度）にまで低下するなかで、食料の安全保障や食品の安全性が私たちの生活にとって重要な課題となっています。</p> <p>この授業では、このような食料経済をめぐる諸問題の所在を経済学の基礎的な分析手法を用いて明らかにすることで、私たちの食生活のあり方を考えていきます。</p>		
授業計画	第1回 経済循環 第2回 食品選択の理論① 第3回 食品選択の理論② 第4回 エンゲルの法則 第5回 食品市場の均衡 第6回 食料品の価格はなぜ大幅に変動するのか 第7回 米価はどのように決定されてきたのか 第8回 開発途上国ではなぜ食料問題が生じるのか	第9回 家族の変容と食生活 第10回 食料消費パターンの変化 第11回 食料自給率 第12回 食料の安全保障 第13回 世界の人口と食料 第14回 食品表示で食の安全は確保できるのか 第15回 食の安全と国際基準	
教科書 参考書	教) 時子山ひろみ・荏開津典生著『フードシステムの経済学（第4版）』（医歯薬出版）		
評価方法	期末試験、出席状況を総合して評価します。		
事前準備学習 履修条件等			